

# 予告

## 令和8年度総合型選抜における地域教員希望枠の導入について（教育学部）

令和6年7月  
茨城大学

茨城大学教育学部学校教育教員養成課程の教育実践科学コース、教科教育コースの一部（言語・社会教育系英語選修、理数教育系理科選修、技術教育系技術選修）及び特別支援教育コースにおいて、令和7年度に実施する令和8年度入学者選抜から後期日程の募集を廃止し、新たに総合型選抜で地域教員希望枠を導入します。

学校教育や教員養成をめぐるには、小学校教員の不足、多様な支援を必要とする子どもの増加、AI・データサイエンス教育を推進する教員の必要性など、さまざまな課題が取り沙汰されており、それらを解決すべく、茨城大学教育学部が茨城県教育委員会と連携し、新たな教員養成に取り組むものです。

出願要件としての出身高校・出身地等地域の制限は設けません。茨城県内の教員を目指す強い意欲を持つ方の入学を願っています。

募集人員、出願資格・出願要件、選抜方法、配点等については以下のとおりです。なお、本内容は予定であり、変更が生じる可能性があります。最新の内容については、本学ホームページ、学生募集要項等で公表しますので、ご確認ください。

### 【募集人員】

学部	課程・コース等		入学定員	前期日程	後期日程	一般推薦	専門高校推薦	総合型選抜	私費外国人留学生選抜		
教育学部	学校教育教員養成課程	教育実践科学コース		240	13	-	5	-	8	-	
		言語・社会教育系	国語選修		17	5	4	-	-	-	
			社会選修		13	5	5	-	-	-	
			英語選修		5	-	5	-	6	若干名	
		理数教育系	数学選修		17	5	4	-	-	-	
			理科選修		15	-	3	-	6	-	
		音楽教育系	音楽選修		6	4	3	-	-	-	
		美術教育系	美術選修		5	3	4	-	-	-	
		保健体育教育系	保健体育選修		8	5	5	-	-	-	
		技術教育系	技術選修		11	-	3	若干名	3	-	
		生活科学教育系	家庭選修		8	2	4	-	-	-	
		特別支援教育コース			15	-	3	-	7	-	
		小計			133	29	48	-	30	-	
		養護教諭養成課程			35	17	10	8	-	-	若干名
		計			275	150	39	56	若干名	30	若干名

※学校推薦型選抜及び総合型選抜において入学手続者が募集人員（若干名は除く）に満たなかった場合は、一般選抜前期日程の合格者で補充します。

**【出願資格・出願要件】**

<b>出願資格</b>					
次の各号のいずれかに該当する者					
①高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8年3月修了見込みの者 ③文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和8年3月31日までに修了見込みの者					
<b>出願要件</b>					
教育学部	学校教育教員養成課程	教育実践科学コース		次の要件を全て満たし、合格した場合に必ず入学することを確約できる者  ①調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者 ②茨城県採用教員として教職を目指す強い意欲がある者	
		教科教育コース	言語・社会教育系		英語選修
			理数教育系		理科選修
			技術教育系		技術選修
	特別支援教育コース				

【選抜方法】

学部	課程・コース等		選抜方法等
教育学部	教育実践科学コース 〈いじめ・不登校対応と子どもの居場所創設プログラム〉		<p>調査書及びプレゼンテーション・面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈プレゼンテーション〉 設定されたテーマについて、「いじめ・不登校対応と子どもの居場所創設プログラム」と関連させながら「プレゼンテーション資料」に基づいてプレゼンテーションを行い、その内容について質疑応答して、言語表現力や論理的思考力及び学校教育に対する関心・意欲を評価します。（質疑を含めて20分程度）</p> <p>〈面接〉 個人面接を行い、「いじめ・不登校対応と子どもの居場所創設プログラム」への関心、茨城県の教員を目指す意欲、小学校教員としての適性（コミュニケーション能力を含む）などを評価します。（15分程度）</p>
	言語・社会教育系	英語選修 〈小学校実践英語教育プログラム〉	<p>調査書及び口述試験・面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈口述試験〉 英語技能を測る課題を提示し、その結果ならびにそれについて英語を含む質疑応答を通して、小学校での英語授業実践を行うための基礎的な知識・技能（言語表現力や論理的思考力などを含む）を評価する。（質疑を含めて20分程度）</p> <p>〈面接〉 個人面接を行い、「小学校実践英語教育プログラム」への関心、茨城県の教員を目指す意欲、小学校の英語教員としての適性（コミュニケーション能力を含む）などを評価します。（15分程度）</p>
	教科教育コース 理数教育系	理科選修 〈小学校実践理科教育プログラム〉	<p>調査書及び口述試験・面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈口述試験〉 理科に関する課題を出し、その内容について質疑応答をして、理科授業実践を行うための基礎的な知識・技能（言語表現力や論理的思考力などを含む）を評価する。（質疑を含めて20分程度）</p> <p>〈面接〉 個人面接を行い、「小学校実践理科教育プログラム」への関心、茨城県の教員を目指す意欲、小学校の理科教員としての適性（コミュニケーション能力を含む）などを評価します。（15分程度）</p>
	技術教育系	技術選修 〈プログラミング教育指導力養成プログラム〉	<p>調査書及び口述試験・面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈口述試験〉 プログラミング教育に関連する教科（数学・理科・英語・情報など）に関する課題を出し、その内容について質疑応答をして、小学校でプログラミング実践を行うための基礎的な知識・技能（言語表現力や論理的思考力などを含む）を評価する。（質疑を含めて25分程度）</p> <p>〈面接〉 個人面接を行い、「プログラミング教育指導力養成プログラム」への関心、茨城県の教員を目指す意欲、小学校でプログラミングを指導する教員としての適性（コミュニケーション能力を含む）などを評価します。（15分程度）</p>
	特別支援教育コース 〈外国にルーツのある子どもを含む学習困難児の教育支援プログラム〉  〈特別支援教育プログラム〉		<p>調査書及びプレゼンテーション・面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈プレゼンテーション〉 設定されたテーマについて、選択した「地域教員希望枠のプログラム」と関連させながら「プレゼンテーション資料」に基づいてプレゼンテーションを行い、その内容について質疑応答して、言語表現力や論理的思考力及び学校教育に対する関心・意欲を評価します。（質疑を含めて20分程度）</p> <p>〈面接〉 個人面接を行い、選択した「地域教員希望枠のプログラム」への関心、茨城県の教員を目指す意欲、小学校教員としての適性（コミュニケーション能力を含む）などを評価します。（15分程度）</p>

※各プログラムの詳細については [こちら](#) をご確認ください。

【配点】

学部	課程・コース等		調査書 (*)	プレゼン テーショ ン	口述試験	面接	合計		
教育学部	学校教育教員養成課程	教育実践科学コース	30	60	－	60	150		
		教科教育コース	言語・社会教育系	英語選修	30	－	60	60	150
		理数教育系	理科選修	30	－	60	60	150	
		技術教育系	技術選修	30	－	60	60	150	
		特別支援教育コース	30	60	－	60	150		

(\*) は面接の参考資料としても利用することを表します。